

第175回 必須アミノ酸研究協議会 プログラム

日時：平成15年10月17日(金) 14時より

場所：京大会館210号室 (京都市左京区吉田河原町15-9)

一般講演		頁
1. アルギニンによるラット肺胞マクロファージ貪食能亢進のメカニズム ・NOならびにその代謝産物からの検討 山崎あかね、森口 覚(山口県立大学生生活科学部栄養学科)	(10分)	1
2. アミノ酸過剰摂取によるラット肝セリン脱水酵素の誘導と血中アミノ酸の動態 金本龍平 ¹ 、鐘 波 ¹ 、雨尾美智子 ² 、三浦 真 ² 、坂井良成 ² 、木村 毅 ² 、 (¹ 京都府立大学大学院農学研究科、 ² 味の素ライフサイエンス研)	(10分)	1
3. 食事アミノ酸組成と肝臓メタロチオン 中川 晶 ¹ 、青山頼孝 ² (¹ 北海道大学大学院農学研究科応用生命科学専攻、 ² 名古屋文理大学健康生活学部)	(12分)	2
4. スレオニン欠乏時の摂食抑制に及ぼすD-スレオニン投与の影響 田中秀幸、市澤 恵、常世 建、田村倫子(宇都宮大学農学部生物生産科学科)	(15分)	2
5. BHA、BHTのアセトアミノフェン肝障害抑制作用とグルタチオン ポインドグルン・金花、真田宏夫、江頭祐嘉合(千葉大学園芸学部生物生産科学科)	(12分)	3
6. テアニンのドーパミン放出機構及びその他のアミノ酸の動態 山田貴史 ¹ 、河野 奨 ¹ 、寺島健彦 ² 、横越英彦 ¹ (¹ 静岡県立大学大学院生活健康科学研究科、 ² 静岡県茶業試験場)	(10分)	3
7. 分泌攪乱物質の候補である可塑剤フタル酸エステルの毒性発現機構の解明： グルテン食はフタル酸エステルの毒性をカゼイン食投与時よりも軽減する 柴田克己、福渡 努、井口和子、佐々木隆造 (滋賀県立大学人間文化学部生活文化学科)	(10分)	4
8. タンパク質栄養等によるFoxOファミリータンパク質の遺伝子発現調節 井前正人 ¹ 、加藤久典 ¹ 、野口 忠 ² (¹ 東京大学大学院農学生命科学研究科、 ² 中部大学応用生物学部)	(10分)	4
9. TNF- α による腸管上皮細胞タウリントランスポーターの発現上昇メカニズム 清水 誠、望月鉄之祐、薩 秀夫(東京大学大学院農学生命科学研究科)	(10分)	5
10. 急性肝炎ラットの補体系に及ぼすグリチルリチン、亜鉛クロロフィリン経口投与の影響 藤澤由美子 坂本元子(和洋女子大学)	(10分)	5

懇親会： 発表終了後(17時頃)